

広

きたうら

報



〔 PHOTO 〕

寒さなんて吹き飛ばせ！

こたつ
寒さ本番！炬燵から出たくないこの季節、外を裸で元気に駆けまわる園児たちがいました。跳び箱、縄跳び、一輪車、つづいてかけっこ、体操、乾布摩擦。

のぞみ園では、丈夫な体と精神を養うために、毎朝体育ローテーションを続けています。赤ら顔になった園児たちには風邪も近づけないようです。

- ☐ 国民年金で豊かな老後 P 2・3
- ☐ ドイツ研修報告 P 4・5
- ☐ 魅力の村づくり P 6
- ☐ さわやか健康 P 7
- ☐ むらの話題・スポーツ P 8・9
- ☐ いきいきさわやか奥さん P 10
- ☐ 北浦の昔話・文芸きたうら P 11
- ☐ おしらせ P 12

2月10日(木)発行

つたし、そういうことで一部に混乱があったことを記憶しています。

当時は、現在のように老後の生活設計を云々できる情報もなく、ただ親たちの老後の生き方をみてきた私たちには、せいぜい「夫婦の小遣いに不自由をしたくない」「年に一度ぐらい夫婦で温泉に行きたい……」が当時の平均的な老後に対する夢？であったと思います。

月々の保険料は、百円からスタートし、一方、老齢福祉年金、老齢年金等は、保険料の十倍から二十倍と記憶しており、このまま行った場合、将来本当に大丈夫かと不安を感じたこともありました。

年金制度も年々改正をおこない、二十歳以上の皆年金制、国民年金と厚生年金等の共通制など、長期的、安定的に老後の生活を保障する制度に成長したと評価できると同時に、私たちには大変ありがたい制度だと思っています。

一方、これからの高齢化の進行、少出生化傾向から、現役世代の負担増などきびしい状況も予想され、特に若い方々の理解が重要で、また、支えられる私たちも、現役世代に理解されるような生き方が大事かと思っています。

ちなみに、私の場合、六十歳（保険料納付完了）を契機に農業経営を息子に移譲、現在農作業を手伝うかわら、出荷組合長、区長、統計調査員等を務めさせていただいている関係から、自分の趣味とか、旅行など楽しむ余裕はなく、職務



原目さわ子さん(山田)

私は昭和三十六年から国民年金の保険料を納め始めまして、昨年十月から年金を受給することになりました。当時の保険料は月額百円から始まり、世の中はだんだんインフレの傾向になり先行きに多

ボランティア活動で 充実した老後を……

全うに腐心している現状であります。

そういうなかで、昨年から妻の年金(繰上受給)と合わせて、月額約十万円を受給しておりますが、これを息子からもらうとなると極めて困難であり、その肩代わりが「国民年金制度」だと認識しているものです。

私はまだ、高齢者という実感は持っておりませんが、身体の不調や農家の減少、高齢化をふまえ、高齢者の特性や自然環境等を生かした農業など、地域や現役世代に幾分なりとも還元できるような活動をしなから「充実した老後」を生きていくためには願っています。

少の不安感はありません。しかし、年金制度を信じ周りの年金受給者の方々の姿をみながら、三十年間の期間を終えて始めて受給した国民年金は、「本当によかった」というのが、今の実感でございます。

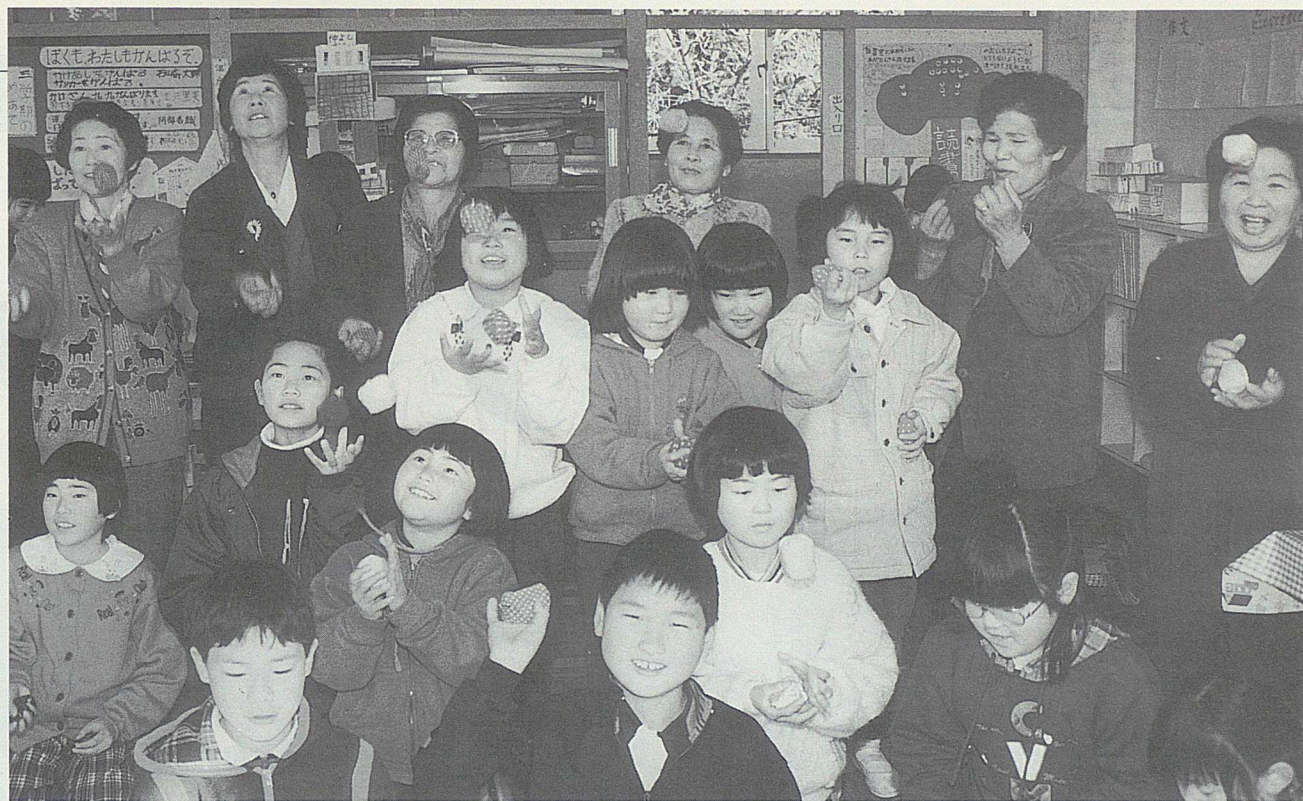
水戸の藝文センターで生活評論家の吉沢久子先生の講演に接しまして「人生の計画」についてのお話を聞きました。その中で先生は、①自分の住居を持つこと②子供の教育をすること③老後の生活設計をすることというお話をされました。

③については、老後は孫に小遣いをやるとか、自分の趣味で楽しく暮らすように蓄えると言った内容でした。

国民年金制度ができましたことは専門農家の私にとりましては大変良い制度だと思います。現在受給されている皆さんも制度以前の人達と比較してみますと、温泉旅行や季節ごとの催し物等にと楽しく豊かな生活行動をしていると思います。

私も専業主婦として生活していく場合、定期的に自由な金が入ることは嬉しいことです。まして、夫や息子たちからもらうのではなく、自らの長年の働きが、年金という形で報われることは、本当に心豊かな気持ちになります。心身ともに余裕の出来た現在では、戦時下でいろいろなお稽古事の出来なかった事を、六十の手習いで今楽しんでおります。

特に、村の食生活改善推進員として勉強させて頂いたことを生かしてボランティア



▲ おばあちゃんと一緒にお手玉遊び (要小正月お楽しみ会より)

昭和三十六年に国民年金制度がスタートし、その後昭和六十一年、平成三年の大幅制度改正により、二十歳以上の人はすべて何らかの公的年金に加入しております。同時に基礎年金も各年金の共通となり、年金財政の安定と老後の所得保障が確立いたしました。

現在、国民年金の拠出による老齢基礎年金等の受給者は二千人(北浦村)を超えており、特に高齢者世帯の所得の半分以上を占めていると言われ、これら年金の果たす役割は、今後の高齢化の進行に伴いますますます重要になります。

国民年金は通常六十以上の長期的な関わりから、若い方々には実感が得にくい面がありますが、身近に年金受給により、多様な生活や活動を展開している方が大勢おります。

今回は、国民年金受給者もお二人に、加入時から、これらの生活設計と年金の役割などについて感想をいただきました。

国民年金で 豊かな老後

高齢者に合った農業で
現役世代に還元を……



亀田信也さん(行戸)

私は、昨年六月に六十五歳の誕生日を迎え、同時に「老齢基礎年金」を請求して、現在満額の年金を受給しています。

昭和三十六年の国民年金制度発足当時をふり返してみると、国民健康保険制度ができたばかりで、いわゆる「社会保障制度」は、それまで私たちの生活にあまり馴染みがなかったため、三十年先の老後を保障すると言われてもピンとこなか

ドイツ研修報告

2

ドイツの西の森 ヴイルゲスの町を訪れて

小泉 輝 子（山田）

のだそうです。ヴイルゲスの町は、自然に手をつけず、上手に人間が自然の中にとけこんでいる町の様に感じました。

□ 自然を修得しながら

ヴイルゲスの主な産業は、粘土の輸出（約六十％はイタリアへ輸出）とそれに伴う陶器の生産があります。グレーと紺の色調に、伝統的な花柄の陶器は、約二千年もの歴史を経ていると聞きました。

町の中で訪れたレストラン等では、装飾の花びんや人形、皿、カップも全部この陶器を使用していました。それから粘土を掘り続けてなくなりはないのかという質問に対して、約二百年は大丈夫だろうという心強い返答が市長さんよりありました。又掘り起こした後を、何百年という歳月をかけて完全に修復させるという姿勢にも強く感心しました。

ヴイルゲスは季節により、釣り、ボート、スキー等の施設も十分あり、楽しい町づくりが行われている様でした。日本の場合は、一つ一つの施設は充実している、トータル的な流れがなく、駐車場の問題、道路行政等の悪さも手伝い、と



▲ 陶器製作現場を見学する派遣団

◀ ヴィルゲスの市章

「アオフヴィーダーゼーエン、ダンケ、モルゲン、アーベント、ターク……」私の頭の中で、ドイツ語がパァーッと開けた。六月からの北浦国際交流協会主催の講座で学んだ言葉が、ドイツの町の中で聞こえた時に、喜びでいっぱいでした。十一月二十一日、フランクフルトの町は、前に訪れた時と同様に、合理的できらびやかさのない所という印象は変わらなかった。北浦村と交流のある連合行政体ヴイルゲスは、フランクフルトから西へ車で約一時間程の所でした。

ヴェスターヴァルト郡の中央に位置する連合行政体ヴイルゲスは、十二の町と統括地区からなる人口約一万九千人の街である。ヴェスターヴァルトというだけに、森に囲まれた集落で、今年は三十年ぶりの早い雪に見舞われて、まるでおとぎの国の様に美しい街でした。道路は完全に舗装され、丁度クリスマス一か月前ということもあり、各戸の窓辺には、ツリーや人形が飾られ、道端には星型のアーチがすっきりと光っていました。この様な街並みの景観も、何かの本で読んだ記憶では、行政主導で作られた美しさな

ても利用しにくい様な気がします。北浦村の場合も、新しい公民館や体育館等の設備が充実されつつあるので、皆が積極的に活用していく様になると、村が益々活性し若人が愛する故郷になっていくのではないのでしょうか。

今回の研修における私のテーマは、ドイツの食生活や物価の動向、生活様式についてという事でしたが、残念ながら、個人のお宅への訪問はありませんでしたので、街を歩いて感じた事を記してみます。デパートにて、生活雑品、果物、キッチン、文房具等の値段を聞いたり、買ったりしたところでは、だいたい日本の物価と同じ位でした。食生活においても、町のレストランや、ホテルの食事については、野菜の種類も少なく、肉はボリュームがありました。日本食の様に多種多様とはいかない様でした。耕地面積はあるが、地質の悪さや寒冷地という恵まれないドイツにくらべて、北浦村の場合は、土地に合わせた作物の工夫が出来たり温暖な気候に恵まれ幸せだと思えます。

□ 教育の原点を見た

それから印象に残った視察に、ズィーアスハーンの特設学校で、学習障害児の授業参観がありました。学校の建物は、街並みの色調に合わせて造られていて、教室もピンクやブルー、イエローで塗られ、明るくアットホームな雰囲気でした。

私達が参観したのは、知能指数八十～百位の小学三、四年生で編成された十五人程のクラスでした。J（イヨット）という文字を覚えさせる為に、先づ袋の中からカードを選んで興味を持たせ、Jのつく言葉連想させたり、ボードに書かせたり、粘土で表現させたり、毛糸を使い針で刺しゅうをさせたりして、文字を覚えさせるという方法でした。成長時に親の十分な世話を受けられず発達がおくられてしまった学習障害児や、トルコ人などの出稼ぎ外国人労働者の子供達がいるので、ゆつくりした授業の展開でした。

本来、教育は各個人の能力に応じ進めるべきだと思うので、久しぶりに教育の原点を見た思いでした。子供達は、とても明るく、人なつっこく、伸び伸びとしていて、愛情ある先生達の教育で、学校生活を楽しんでいる様子が、短い時間の中にも感じられました。

□ お年寄りもおしゃれを

次にヴィルゲスの労働者福祉協会において、お年寄りの方々との出合いは、老人ホームにいる自分の母親を思い出して、涙ぐんでしまいました。八十歳から九十歳の若々しい老人達は、とても美しくおしゃれをしていて、毎週水曜日には、この集会所に集まり、昔話をしたりお茶を呑んだりして過ごしているそうです。この建物が手狭になり、増築が必要になった時には、老人自らが立ちあがり、力

を合わせ完成させたそうです。このように時には、老人パワーを発揮させて、若者までも動かしていく様な姿勢も必要かとも思いました。

ドイツも日本と同様に高齢化が進んできて、ホームの数も足りなくなってきたり、子供達の独立で、独居老人も増える、在宅看護の必然性が年々増加しているとの事でした。ホーム等の施設の運営は、町の補助、個人負担、ボランティアにより成り、ボランティアの部分は歴史も古く、人々（国民）の中に深く浸透しているというお話でした。（スムーズにボランティア活動が行われている）

北浦村の場合は、三世代家族が多いので、若い人達が共同体を作り、困ったことやその方法を常に話し合い、農繁期に於ける昼食のサービス、訪問看護等をボランティアやその他の行政機関を設けて、進めていくと良いのではないのでしょうか。一家の老人を一人で背負わず、若い世代皆のお年寄りと考える柔軟性も必要ではないのでしょうか。

最後にコーベルン・ゴンドルフのクリーンエネルギー産出プラントの見学も大変感銘を受けました。つきることのない太陽光線を第二次エネルギー（電力）に変換し、建物の暖房等に活用させていく方法です。広大な丘陵に太陽エネルギーを受け入れるシステムが、整然と立ち並んでいました。原子力発電と比べると、発電量の面や設備にかかる経費の面等の

□ この体験を活かしたい

終わりに、クリスマス一か月前の雪が降るモニターバオアーの街に、中世の建物を見ました。雪道で足がかじかむ程の寒さでしたが、ガイドの方や通訳のローマイヤーさんの熱心な説明に、ひとときり時代は中世に逆戻りしました。その中世時代に商業や裁判が行われた場所や、歴史のある教会の建物が見事に維持保存されていました。

人間は自然に対しては本当に弱いものです。自然という大きな存在に解けこみ、ゆったりとした流れを育み、相対していかねければとつくづく感じました。福祉の問題にしろ、公害の問題にしろ、長い間に培われた社会観念は、急に変えられないので、研修における経験や体験を活かし、将来の長期間にわたる計画をたて、先づ一人一人の心構えから始めなければならないと思います。

私も微力ながら今後の北浦村の向上に力を注ぎたいと思っています。

第二回

「魅力とは」

北浦村の将来像を描くために、平成四年度から村では「魅力の村づくり」計画をスタートさせました。計画の内容についてお話しするまえに、今回は、計画の名称にもなっている「魅力」とはどういうことかについて考えてみたいと思います。

「魅力」という言葉を辞書で引くと、〈人の心を引きつける不思議な力〉とあります。私たちは日常生活の中で人や物に対して、よく理由は説明できないけれどなにか心引かれる、という思いをすることがあります。無口だけど温かな雰囲気をもっている人、突拍子もないことだけど面白いことを言う人、趣味でも仕事でもずば抜けた能力をもっている人。あるいは身の廻りにある本当によくデザインされた、使いやすい道具。自分だけしかもっていない手作りの小物など。こうした人や物には共通する点がいくつかあります。魅力の条件といってよいかもしれません。

魅力の条件

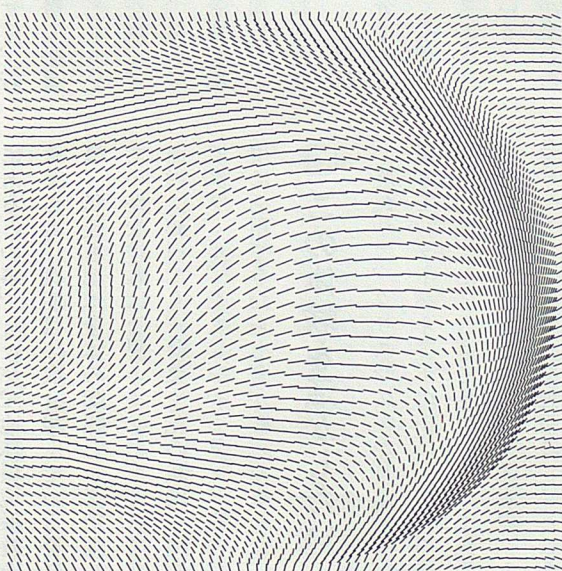
その第一は、個性であること。個性というのは他の人や物にはない、固有のものということです。ときには、得がたい、あるいは貴重ということ。「得がたい人物」とか「貴重な品」という言葉で表現されるものです。そして三つめは美しいということ。

と。美しさという言い方は誤解を生みやすいかもしれません。これは着飾った美しさという意味ではありません。心から感じる美しさ、そのものからにじみ出る美しさのことです。感動や共感と言いかえてもよいかもしれません。これについて第一回で紹介した北浦村を訪れた方がこんなことを言っていました。『北浦村の風景、特に収穫の後の整地された畑は美しい。遠景としても美しいが、近寄って見るともっと美しさを感じる。それは人の手がきちんと入っていることがわかるからだ』と。

住む誇り、訪ねる喜びの村に

地域としての村の魅力を考えるとき、もう一つ大切な条件があります。それは「知られている」ということです。例えば霞ヶ浦は全国的にも知られた湖ですが、北浦湖の知名度は県内においてすらまだまだ低いと言わざるをえません。北浦村についても同じようなことがいえます。皆さんにも、県内でも少し離れたところや都心などに外かけて行き、北浦村のことを話したり聞かれたときに、なかなかうまく説明できない、相手もすぐにはわかってくれなかったという経験があると思います。これでは村に住む者としての誇りもちよと傷つけられるというものです。その地に住む誇りというのは地域の魅力のひとつであり、大切にすべきものです。また逆に、北浦村がそんなによいところとわかっていたなら北浦

村を訪ねて行くのに、と思う人が村の外にたくさんいるかもしれません。こうしたことから、北浦村の魅力づくりは、村の中だけでものごとを考えるとということではなく、「北浦村はいいところですね」と外の人から言われ、北浦村の良さを再発見する。そして、さらにそれに磨きをかけてより良いものにしていく。こんな方法も北浦村の将来を考えるには効果的なことだと思います。(以下次号)



さわやか健康

うす味に慣れるわが家の健康法

各種健診・予防接種スケジュール

事業名	月日	受付時間	場所	対象
3才児健診	3月3日	PM 1:00~1:30	母子センター	3才児
母子保健教室	8日	PM 1:30~3:30	母子センター	妊婦
麻疹	11日	PM 1:30~2:30	母子センター	該当児
育児相談	14日	PM 1:30~2:30	母子センター	乳幼児
母子保健教室	22日	PM 1:30~2:30	中央公民館	妊婦
一般健康相談	25日	PM 1:30~2:30	母子センター	一般住民



生後半年ぐらいいになるとまっ白なかわいい歯が顔を出してきます。

その歯は、赤ちゃんがお母さんのおなかの中にいる頃からもどがつくられはじめ、生まれてからも歯肉の中で成熟し続けやっとなえてくるのです。

その大切な歯がいつまでも健康で、何でもモリモリ食べることでできる丈夫な体につながって欲しいというのは誰もの願いだと思います。

むし歯は、誰の口の中にもいるミュータンス菌が原因です。この菌は砂糖が大好きで砂糖を栄養に繁殖します。

家族みんなで守りたい

子どもの歯

この菌は糖分があると歯の表面に歯垢を付け、その歯垢の中にできた酸によって歯はだんだん溶かされてむし歯になるのです。

そこで歯みがきはもちろんのこと、おやつを食べ方はむし歯の発生に大きな影響を及ぼします。

ミルク餅

カルシウムたっぷり子どものおやつにも、お年寄にも喜ばれるふわふわの餅です。

〔材料〕 4人分

- 片栗粉 50g
- 牛乳 300g
- スキムミルク 30g
- 黄名粉 20g
- 砂糖 20g
- 塩 少々

〔作り方〕

- 鍋に○印を入れよく混ぜ合わせる。
- 1を火にかけ、はじめは強火にして木杓子でかきまぜ固まりができてきたら弱火にし、まんべんなくかき混ぜていく。
- ボールに●印をあわせておき、ちぎった餅をまぶし器に盛る。

〈1人分の栄養量〉
カロリー 114 Kcal
カルシウム 170mg

— むし歯予防教室より —

むし歯予防教室料理実習

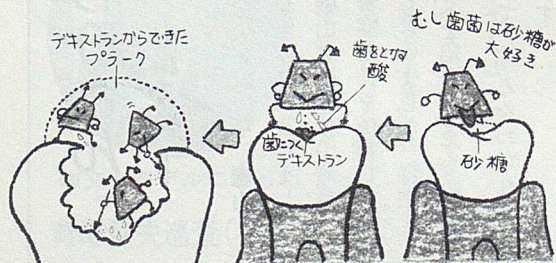


砂糖はとる量よりも回数が問題です。三回の食事と二回のおやつをきっちり時間を決めてとることが大切です。村では家族みんなで子どもの歯を守ろうとむし歯予防教室(祖父母対象)を一月十四日に開きました。

鹿島町の高栄養士の指導で手づくりおやつに挑戦しました。おじいちゃん、おばあちゃん他大勢の参加がありました。身近な材料で簡単に作れるメニューで好評でした。

また栄養士さんのお話で、あれはダメ、これはダメと食品を制限しないで、色々なものを組み合わせて量を考えて食

むし歯ができるまで



べる食べ方は誰にも実行できそうでも参考になったと参加した方々が感想を述べておられました。

むらの話題・スポーツ

身近な出来事や話題を
お寄せください



正月恒例どんと焼き 要小正月お楽しみ会

1月22日に要小学校において、正月お楽しみ会が行われました。おじいさん、おばあさんも招待され、昔なつかしい遊びなどで、子どもたちと楽しく過ごされました。

お昼はみんなでついたお餅を食べ、最後に風船飛ばしとどんと焼きが行われました。



書き初め大会

1月7日に津澄第一公民館において書き初め大会が行われました。参加者は119名で、小学1年生から6年生までのびのびとした筆づかいで作品を書き上げました。始めて筆を持つ児童もおり、手や顔を黒くしながらの奮闘ぶりでした。



作文のモデルになった
青砥秋夫巡查(小幡)

おまわりさんは「てっぼうはつかわないで、あいてをきずつけないようにつかまえる」といいました。そんなやさしいおまわりさんが、だあいすきになりました。



優勝は根本鉾金A 村内駅伝大会 北浦中ハンドボールA

第36回北浦村村内一周駅伝大会が、1月15日に行われました。当日は天候にも恵まれ、男子の部14チーム、女子の部12チームの参加がありました。

男子の部では、中学生をおさえて上位4チームが一般のチームでした。女子の部では北浦中学校の先生のチーム(北浦ヤンレディー)が大健闘しました。

■大会の結果

【男子の部】	【女子の部】
優勝 根本鉾金A	北浦中ハンドボールA
準優勝 Y P C	北浦中バスケット部
第三位 げっぴ会長野江	北浦中ハンドボールB
第四位 北浦バスケットクラブ	北浦中バレーA
第五位 北浦中サッカー部	北浦中卓球部
第六位 根本鉾金B	北浦中テニス部A

おもいました。よるもぼとろうるのしごとをしていることは、はじめてでした。ぼくのいえのちかくの、ひとりかぞくのおばあちゃん、おじいさん、おまわりさんが、ちよいちよい、みまわりにきてくれるので、たすかる」と、よろこんでいたそうです。ぼくのうちにあって、きてくれたことがありますよ。

こうつうあんぜんのはなしや、あぶないあそびのはなしや、ゆかいのはなしなど、いっぱいしてくれましたね。「これから、なつやすみになるので、きおつけてください」と、おまわりさんがいって、ぼくは、ようちえんのなつやすみのことをおもいだしました。とびだして、けいとらつくにぶつかってしまったことがあったのです。ごめんなさい。ぼくがわるかったのです。ことは、じこやけがない、たのしいなつやすみにします。ぜったいとびだしません。おまわりさんとよくそくしたように、ふあみこんはすこしにして、ぶうるやむしとりをがんにばります。おまわりさんのように、つよいからだをつくりたいです。

親子で楽しい スキー教室



1月7日から9日にかけて、福島県磐梯国際スキー場において親子スキー教室が行われました。スキー初体験の方や、家族そろって参加した方など45名の参加者があり、天候にも恵まれ和気あいあいと楽しく開催することができました。



堤防で一斉放水 消防出初式

消防出初式が1月17日に北浦村第2グラウンドで行われました。機械器具の点検、分列行進などを行ったあと、消防自動車によるパレードがおこなわれ、最後に北浦湖岸の堤防で一斉放水が行われました。火事がないことを願って、万が一に備えていました。



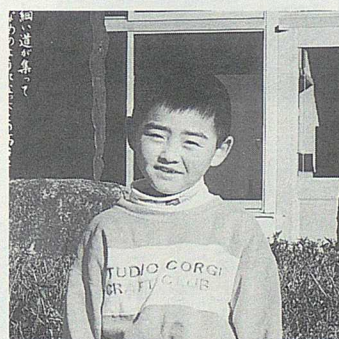
酒井美智子さん
(山田)



成田ひとみさん
(成田)

「わたしたちのおまわりさん」 — 第二回全国小学生作文コンクール入賞 —

第二回全国小学生作文コンクールにおいて要小学校一年、磯山正樹君の作文「わたしたちのおまわりさん」が佳作に入賞しました。賞状伝達式には、県警本部少年課長より磯山君に直接手渡されました。また、その日は磯山君に一日麻生警察署長を依頼し、北浦中学校で自転車の防犯診断などを行っていただきました。将来はお巡りさんになりたいという、磯山君の作文を紹介します。



磯山正樹君(行戸)

ちゅうざいしよのおまわりさん、いつもぼくたちのために、あさはやくからどろにたつてくれて、どうもありがとう。「おはよう、いつてらっしゃい」といつもここにこがみおくりしてくれて、ぼくは、うれしくなります。ゆうびんきょくのまがりかどのところにくると(けさもおまわりさんいるかなあ)って、ちよっぴり、あしがいそいでしまうんです。おまわりさんのかおをみると、なんだか

あんしんしてどろをわたれるからふしぎです。このあいだは、かなめしよがつこにきてくれましたね。ぼくは、おまわりさんのおはなしを、いっしよけんめいききました。だって、ぼくもおおきくなったら、おまわりさんになりたいなあとおもっているからです。わるいひとをつかまえて、みんなのためにがんばりたいです。ぼくは、まいにち、ちゅうざいしよのまえをとおっているのです。おまわりさんをみかけるときがあります。でんわがありますね。このあいだは、のうとになにかきながら、でんわをしていましたね。ぼくは、じけんかなとおもって、じつとみました。あさのとのかおとはちがつて、しんけんなかおでしたから、やっぱりじけんだと



横田照美さん (小貫)

身近に飛ぶ白鷺に感動

横田照美さん(三十二歳)は静岡県賀茂郡河津町出身です。貢さんと東京で知り合い、北浦村に嫁いできました。

河津町はどんな所ですか？
伊豆半島の南、今井浜温泉のあるところ。観光客も多く訪れ、近くに観光名所もたくさんあります。私の実家はみかん農家で、わさびも作っているんです。

北浦村の第一印象は？
白鷺が身近に見られて感動しました。河津町では見られませんでした。静かで、見晴らしもよく、不便も感じませんでした。

広告代理店に勤めているそ

いきいき さわやか 奥さん

元気っ子バンダ



とる 徹 くん (3歳)
〔南高岡 柏原正明さん宅〕

ご飯はいっぱい食べるんだよ。特にカレーライスが大好き。家の中でおもちゃで遊ぶより、畑でトラクターや一輪車で遊ぶほうが好きなんだ。だからいつも元気！



露地から施設園芸へ 主力を チンゲンサイに

今回は、チンゲンサイ、みつば、ジャガイモ、ネギなど幅広く野菜を栽培している成田の久米勝行さん(27歳)に伺いました。久米さんは、高校を卒業後自衛隊員を経験し、その後会社で勤めておりましたが、両親の農業に対する意気込みを感じ、農業を継ぐことにしました。いまでは、経営を安定させもっと魅力的にしようと、現在導入作物を研究中です。久米さんのお宅では現在、切りみつばの出荷に追われていました。以前は成田地区でも切りみつばを出荷している農家が数多くあったそうですが、今では久米さんのお宅1軒になってしまったそうです。そのみつばも今年からはチンゲンサイに主力をおくということでやめてしまうそうです。ケンタッキーや長ねぎなどいろいろ露地野菜を導入してきましたが「これからは施設園芸に力を入れて、チンゲンサイの周年栽培などで安定した農業経営を目指したい」ということでした。また、「大型ハウスなどの施設を整備したい農家は多いと思います。村でもハウスなどを整備するさいの補助をもっと増やしてほしい」ともいっていました。

なかなか休みが取れなくて、家族サービスができないということですが、これからも農業をずっと続けたいといっていました。



北浦に伝わる昔話

亀の恩返し——動物の報恩

むかし、山田に原政右衛門さんという人が住んでいた。あるときのこと、政右衛門さんが近くの亀尻池のそばを通りかかると、一匹のカメが子供たちにいじめられているのを見つけた。いまにも殺されそうだったので、かわいそうに思って近寄り、「このお金をあげるから、そのカメを放してはくれないか。」といって、持ち合わせの金を渡し、カメを池の中に放してやった。

それからしばらくたったある日のことである。政右衛門さんが山に木を伐りに行ったところ、木の株につまずいて、左胸にとがった小枝を突き刺してしまった。ようやく起き上がって、刺さったとげを抜いて家に帰り治療をしたが、まだとげが中にあるようで痛くてたまらなかった。その晩のことである。傷が痛くて一睡もできなかったのだが、明け方近くうとうとしたとき、夢まぐらに白髪の老婆が現れた。そして、「私は亀尻池の主のカメでございます。先日はお助けいただきありがとうございます。あなたが、とげうございました。あなたが、とげ

との出会い



赤毛のアン (モンゴメリー)

小貫 樽井 春 美

私が初めて「赤毛のアン」を読んだのは、小学生向けのジュニア版でした。又数年前に今度は「アンシリーズ」と出会うことが出来私の大好きな本のひとつになりました。孤児というハンディを乗り越え、心豊かな人々の住んでいる美しい自然にかこまれたプリンスエドワード島で成長し恋をして結婚、多くの子供にも恵まれるが、一人ひとりの個性を大切に、常に子供の話しに耳を傾ける母親としてのアン、読みながら同じ母親としてどれだけ子供の話しに耳を傾けてあげていようかと考えてしまいました。決して幸せだけの一生ではなく戦争で子供を亡くしたりと苦しく悲しい事もあったけど、一日一日を大切に生きて行くアンが心に残りました。

今月のおすすめ

蒼ざめた祖国



松本清張氏の「日本の黒い霧」に取り上げられた昭和20年代の下山、三鷹、松川事件と奇怪な事件に触発され、松川事件弁護団の記録を読んで小説にしたのが本書である。

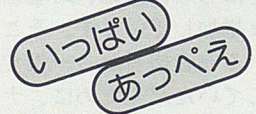
ハンク・ルース 鷲沢 萌
たのしいあやとり全集

小林久三

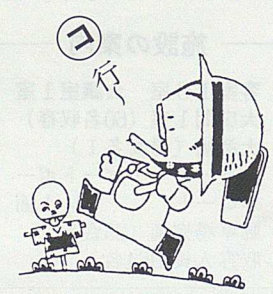
高仲矢須子・高沢由美 著

公民館図書室

むらの方言ベスト



- ①『こうたにこさえてくれんの。』
訳 こんなに作ってくれのですか
- ②『こじゅうはん』を食べる。
訳 三度の食事以外の食事をする。
- ③『こちべたにこうよ。』
訳 こちら側にお出で
- ④マラソンは『こわい』から嫌だ。
訳 疲れる
- ⑤『こんじ』終わりに『すっぺ。』
訳 これで終わりにしよう



きたうら

根本かほる選

買初の嶽の柄に書く年月日
ベビー服冬至の影を長くして
風花や海にみな向く海女の墓
冬籠りメカネ掛けたりはすたり
カーテンを引き忘れたり冬の月
今年のみと思ふ餅つき終りけり
挨拶もそこそこにして媒払い
冬の草背のびして陽に親しめり
夕市の店狭くする師走客
神飾る男のしきたり十二月
標札を確め賀状のアルバイト
ひとひらの落葉切符の様に
一年があつという間に大晦日
ふるさとの槇の実赤く年暮るる
亡夫の忌や人手に頼る松手入れ
夫婦して齢を話す年の暮

根 仲 飯 松 松 金 羽 寺 土 高 東 藤 高 高 本 野
本 居 島 本 本 井 生 内 子 野 野 原 野 野 戸 村
か い 秀 玉 正 ク ま 理 文 敬 サ 静 都 三 さ ず
ほ み 子 江 義 ニ エ き 枝 江 子 カ エ 代 千 く る

高等学校通信制生徒募集

働きながら高校を卒業できます。
茨城県立水戸南高等学校（通信制）

○願書受付期間

平成6年3月7日(月)～3月31日(木)
(土・日・祝祭日・3月8日を除く)

○願書請求

願書は90円切手をはった返信用封筒を同封して請求して下さい。

○応募資格

中学校もしくはこれに準ずる学校を卒業または平成6年3月卒業見込みの者。

○願書請求先

茨城県立水戸南高等学校（通信制）

〒310 水戸市白梅2-10-10

☎0292-47-4675

鹿行大橋通行止

2月28日(月) 4日間
～3月3日(木)

午前9時～午後5時
(昼間のみ)

照明灯取替工事のため国道354号鹿行大橋地内が通行止になります。期間は2月28日から3月3日までの4日間、午前9時から午後5時まで昼間のみ全面通行止になります。ご協力をお願いいたします。

ゴルフ場周辺環境

調査の公開について

北浦ゴルフ倶楽部周辺における農薬の散布による環境への影響調査及び農薬の使用状況について、下記により一般公開します。

○公開期日

平成6年3月14日(月)
～3月18日(金)

○公開時間

午前8時30分より午後4時30分

○公開場所

北浦村役場2階 生活環境課

※調査期間については平成5年1月から12月までのものです。

未就業の在宅看護婦さん

ぜひナースバンク登録を

看護婦をはじめ保健婦、助産婦の需要が年々増加しています。そこで在宅している有資格者から一人でも多く就職していただくために、ナースバンクに希望条件を登録していただき、就職の相談紹介を実施しています。

○連絡先

- ・北浦村役場保健衛生課(☎5-2111)
- ・茨城県看護婦協会(☎0292-25-8572)

国の教育ローンを

ご利用ください

○利用できる方

高等学校・高等専門学校・短期大学・大学・大学院・専修学校・各種学校等に入学及び在学される方またはその保護者

○融資金額

学生・生徒一人につき150万円

○返済期間

8年以内 [据置期間は、在学期間内で最長4年]

○利率

年4.1%(平成6年1月10日現在)

○使いみち

入学時に必要な費用及び在学時に必要な費用

○保証

(助教育資金融資保証基金又は保証人)

○問合せ先

国民金融公庫土浦支店
(☎0298-22-4141)

北浦荘で楽しいひとときを

北浦水郷の自然郷北浦荘をご利用してみたいですか。宿泊もご宴会も低料金でサービス満点。特に3月15日までは、寄せ鍋コースを行っています。また、北浦温泉はナトリウム、炭酸水素塩泉の鉱泉湯で、創傷、リウマチ、神経痛、腰痛、肩こり、冷え性等によいとされております。皆様のおこしをお待ちしております。

— ご利用のご案内 —

■ご休憩(1名当たり)

利用者区分	村 内	村 外
老 人	400円	600円
一 般	550円	700円

※日帰り休憩利用者の利用時間は、午前10時から午後4時までです。
※20人以上の団体でご利用の場合には、割引制度があります。

■ご宿泊(1名当たり)

利用者区分	宿泊料	食 費			合 計	加算額 冷暖房費
		朝 食	夕 食	小 計		
老 人	2,580円	870円	1,550円	2,420円	5,000円	200円
そ の 他	成 人	3,080円	870円	1,550円	2,420円	5,500円
	中 学 生	2,580円	870円	1,550円	2,420円	5,000円
	小 学 生	2,380円	870円	1,550円	2,420円	4,800円
幼 児	無 料	実 費	実 費	実 費	実 費	無 料

※宿泊利用者の利用時間は午後4時から翌日の午前10時までです。

■料理コース(1名様)

・寄せ鍋コース〔3月15日まで〕

Aコース 3,000円(寄せ鍋、さしみ、川海老天麩羅、茶碗蒸し、お通し)

Bコース 4,000円(Aコース料理+鯉のうま煮、えび塩焼き)

Cコース 5,000円(Bコース料理+かに皿盛、くだもの)

・一般料理コース〔年 中〕

松コース 2,000円(さしみ、ミックスフライ、焼物、お通し)

竹コース 2,500円(さしみ、焼物、天麩羅、先付、小鉢)

梅コース 3,000円(さしみ、焼物、天麩羅、カニ、フルーツ、先付、小鉢)

※その他ご要望に応じます。各種食事メニューも豊富です。

北浦村老人福祉センター北浦荘〔北浦村山田122 ☎5-2821〕

茨城県北浦村/面積54.7km²/人口11,208人(－2)男5,601人(+2)女5,607人(－4)世帯2,697戸(±0)

2月1日現在()は前月比